

利用学習計画書

平成24年5月17日

担当 第6学年 佐竹 朋子

1 ねらい

地域の身近な遺跡の見学をとおして、縄文時代の自然環境や人々の生活、社会の様子について、関心を持ち、調べる。

2 評価

縄文時代の様子に関心を持ち、当時の人々の生活や、社会の様子について進んで学ぼうとしている。

3 学習活動について

- ・教科 社会科（単元名「縄文のむらから古墳のくにへ」）
- ・ねらい 縄文時代の人々の生活や社会の様子について関心を持ち、調べ、まとめる。
- ・身に付けさせたい力 見学、体験など具体的な活動やまとめたり表現したりする活動によって、人々の生活や遺跡などの意味を考えることができる。

4 事前指導

- ・縄文時代の特徴について確認する。
- ・学習のめあてを持たせ、当日の活動や体験学習に意欲的に取り組めるようにする。

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定

内容1：全体で館職員の説明を聞きながら学習（探検シート利用 有）

内容2：探検シートを用いて班別に自主学習

（2）体験学習

石のアクセサリ作り（27名） ・石器（12名） ・土笛（11名）

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

感想の記述、ワークシートの記入

利用学習報告書

平成24年6月1日

担当 第6学年 佐竹 朋子

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年5月31日(木) 1校時～4校時

(2) 主な内容

社会科の授業で、「たんけんノート」の答え合わせを行い、学習してきた内容を確認、感想を記入し、発表する。

2 送付する資料(別添)

児童生徒の学習後の感想

児童の感想

- ・ 竪穴住居の大きさに驚いた。教科書や資料集で見te想像していたものよりはるかに大きかった。
- ・ 竪穴住居の中に入るまでは、中は蒸し暑いとばかり思っていたが、実際はとても涼しく、快適だった。また、中は真っ暗で、中で作業をするのは大変だろうと思った。
- ・ 住みだけでなく、その周りにもいろいろな工夫があり、縄文時代の人たちの生活の知恵を知ることができてよかった。
- ・ 体験学習で、石器づくりに挑戦したが、思うようにいかないことが多く、難しかった。鹿の角を使って石を削るということをとおして、動物も道具になるのだということが分かった。
- ・ 石のアクセサリーづくりを体験したが、自分の作りたい形を作るのが大変だったので、出来上がったときは、とてもうれしかった。
- ・ 体験学習の時、職員の方やボランティアの方たちが、とても丁寧に教えてくださった。分からないことや困っていることも、親切に教えてくださった。

